

国で、飛行機に乗って行くんだよ。一年中
 夏で暑いんだよ。毎日アイスクリームが食べ
 られるかもね。おいしい果物がたくさんあ
 るんだよ。そんな話を聞いているうちに、夕
 イという国には一体どんなご飯があるのだろ
 うと少しずつ楽しみになっただ。

初めてタイの空港に降りたとき、ムワッと
 した熱気を感じ、これまで嗅いだことのない
 匂いがした。人々は威勢よく大きな声で、聞
 いたことのない言葉で話している。すぐに、

見るもの、聞くものすべてが今までとは違っ
 とに気がつき、しばらくの間は戸惑うことが多
 かった。楽しみにしていたタイのご飯を初め
 て食べたとき、少しがっかりした。タイのお
 米は日本のお米とは違い、細長く、粘りが少
 なく、パサパサしていて少し変わった匂いがし
 た。今まで日本のお米しか食べたことがなか
 ったため、あまりおいしと思えず、毎日こ
 のお米を食べるのかと少し不安になった。だ
 から私はしばらくの間、ガイヤーンという鳥

の炭火焼きや、ヤムウンゼンという春雨サラ
 タなど、ご飯を使わないタイ料理しか食べな
 かっただ。
 しかし、私はもともと食べることに興味が
 旺盛で、新しい食べ物を見ても躊躇せずチヤ
 レンジするタイプだ。色々なタイ料理を食べ
 ていくうちに、少しずつタイのお米にも慣れ
 てきておいしいと感じるようになっていた。
 ココナッツミルクの入ったグリーンカレー、
 世界一おいしいカレーと言われるマツサマン、
 バジルと唐辛子の利いたガパオライス、くり
 抜いたパイナップルを器にしたチャーハン。
 タイのお米に合った料理がたくさんあり、私
 は、タイ料理が大好きになっただ。
 段々と夕
 のお米に慣れ始めたからだろうか。
 イの生活や文化に馴染めるようになってい
 が楽しいと思えるようになってきたのもちよ
 うどその頃からだ。
 三年後、日本に帰るときには、日本に帰り
 たくない、タイにずっといたいと思うほど、

タイヤタイ料理のことが好きになっ
 ていた。しかし、帰国して日本のお米を食
 べてみるとあまりのおいしさに感動し
 た。やっぱり日本のお米が一番だ。も
 っさりとした食感で、少し甘みを含
 みとてもおいしく、本当に日本に戻
 ってきたんだと実感した。

私はタイでの経験を通じて、一口に
 お米といっても色々な種類があるこ
 とを知った。お米に合った料理が存
 在することを知った。おにぎりは、
 パサパサしたタイ米では作れない。

い。逆に、パラパラとしたチャーハ
 ンはタイ米が適している。世界には
 その国の文化を知ることで、料理を
 通じて色々な文化を知り、好きな物
 を増やしていきたい。そうすれば、
 きっと色々な文化を持つ人と仲良
 くなれるだろうと信じている。